



■ 名 前 (ふりがな)	濱本 美穂
■ グループ名	
■ 学校名	大島町立沖浦中学校
■ 学 年	3 年
■ 年 齢	15 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	

■ レポートした場所	山口県大島郡大島町家房
■ レポートの題名	昔と今の浜の広さ
■ 内 容	<p>わたしの住んでいる地域には、広い砂浜があります。しかし現在ある砂浜は、昔と違い今の方がせまいということが調べているうちに分かりました。</p> <p>以前わたしは、昔と今の道路のあるところについて、調べたことがあります。昔と今では、道路がある位置がすごく違っていました。今ある道路は、埋め立てによって、つくられたものも、たくさんありました。埋め立てられたところは、浜だったり、海だったりしました。</p> <p>そして、今回わたしがテーマにした、「昔と今の浜の広さ」というのは、以前調べた道路のことも関係してくるのではないかと思ったからです。</p> <p>調べ方は、いろいろ人にお話を聞いたり、いろいろな資料をみて調べました。調べていってみると、やはり道路がつくられたことによって、浜がせまくなっていました。実は、調べているうちにわかったことなのですが、わたしの家の前も昔は浜であったことがわかりました。あと、わたしが住んでいるところにある現在の道路は、昔は浜であったことがわかり、そして、現在の道路は埋め立て地にあるということがわかりました。あと、資料の中には昔の写真が何点かあり、海岸線も今日とは違っていました。</p> <p>あともう一つお話の中に、浜が昔と違ってせまくなった原因がありました。テトラポットができて、浜の砂がなくなって浜がどんどんせまくなったということと、波止場ができたりして、浜がせまくなったと話して下さいました。わたしも、それはすごくよく分かりました。実際、テ</p>

トラポットができれば、どんどん砂がなくなっているからです。そして今、その浜は少しですがせまくなっています。波止場のこともよくわかります。今波止場をつくっている所があります。そこは、以前、浜だった場所です。今ではその浜もなくなり、波止場になってしまいました。

わたしは、人間が住みやすくするために、浜だった場所を埋め立て、道路をつくったり、波止場をつくり、浜をなくしていったんだと思います。もし埋め立てなどをしなければ、今あるせまくなった浜ではなく、昔の広い浜だったと思います。私たち人間は、ただ住みやすく、快適に暮らしたいという思いだけに、昔からの広い浜をせまくしていき、今あるせまい浜にかえてしまったんだとおもいました。今でも、浜を埋め立て道路がつくられています、自然もこわさず、道路をつくっていけないのかなと思います。今ある浜をなくさないためにも考えていく必要があるんじゃないかとわたしは思いました。

テトラポット(消波提)がおかれ、砂が少なくなって 埋め立てによって拡張された県道
きた浜



昔は家のすぐ前が浜だったけど・・・

